

# 今年是中国本部設立60周年

(公社) 日本技術士会 中国本部長 福田 直三



新年明けましておめで  
と(じ)びびります。

皆様には、平素より  
(公社) 日本技術士会中

国本部(以下、当会中国本部)の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、元旦から能登半島地震に始まり、その後、同じ地域に9月の台風14号による豪雨災害が発生しました。さらには、8月8日には宮崎市で震度6弱、マグニチュード7.1の日向灘地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発令され、西日本では緊張が続く事態が生じました。一方、世界に目を向けると、豪雨洪水災害が3月ケニア、7月アイスランド、8月アラ

スカ、9月中国タクラマ

カク砂漠、10月サハラ砂漠・スペインで発生し、11月にはインドネシア東部で火山の大爆発と、気象変動や地殻変動の影響が身近な個所あるいは地球全体で発生していることを実感しました。

さて、これらの事象に科学・技術分野がどのように寄与できるかが問われています。当会中国本部におきましては、技術士としての「専門知」の資質向上のみならず多様な社会・環境問題の解決に向けて必要とされる「総合知」の発揮に向けて継続研鑽の機会を提供しているところです。また、行動規範として技術

者倫理綱領(2023年3月改定)が示されています。そのような観点で昨年は次のような講演会を開催しました。

7月の年次大会では、JAXA宇宙研究所長・理事の國中均氏による「JAXA深宇宙探査船団が挑む太陽系宇宙46億年の進化史」の最先端技術の講演(一般市民にも開放)、また、8月には防災委員会による「能登半島地震の実態と支援活動」、第44回地域産学官と技術士との合同セミナー鳥取では「みんなと一緒に考えるDE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)」と題して、特別講演、一般講演4題とも活躍する女性研究者・技術者・実務者からの発表と意見交換をしました。さらに、11月には、第4回中国本部倫理委員会講演会「ウクライナ戦争に関して世界平和、及び環境

倫理を考える」を開催しました。

当会中国本部では各種事業活動をこれまで継続的に取り組んでまいりましたが、昨年は7月に岡山県

支部10周年記念、9月に青年技術交流委員会20周年記念、11月には上下水道部会10周年記念の大会を開催しました。本年は当会中国本部設立60周年となり、7月に記念大会を開催します。また、11月には第29回西日本技術士研究・業績発表会を広島で開催し、有識者による記念講演会を予定しています。

そのほか、活動の一つとして2大学5高専との人材育成連携や、中小企業の課題解決に向けた支援も行っています。

おわりに、新しい年が皆様にとりまして、幸多き年となりますことを祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。